

部長会議付議事案書（報告）

（令和3年8月27日）

提案課名 財政課

報告者名 小山田 範人

事案名	一般会計における令和2年度決算見込みにみる財政状況及び令和4年度当初予算の見通しについて	有 資料 無
提案趣旨	令和3年第3回定例会における令和2年度決算の認定に先立ち、決算見込みの状況を共有するとともに、それを踏まえた令和4年度当初予算の見通しを示すものです。	
概要	<p>1 令和2年度決算見込みにみる財政状況</p> <p>(1) 財政力指数（3か年平均） 0.882</p> <p>(2) 経常収支比率 95.7%</p> <p>(3) 財政調整基金現在高比率 7.7% ※2年度末現在高 23億4,648万4千円</p> <p>(4) 実質公債費比率 1.1%</p> <p>(5) 将来負担比率 17.5%</p> <p>2 令和4年度当初予算の見通し（令和3年8月12日現在）</p> <p>(1) 財源不足額 約3億1千万円（総合計画に位置付けのない建設事業費を除く）</p> <p>(2) 当初予算編成に向けた今後の取組</p> <p>ア 歳入 自主財源（市税等）の適切な見積り、市債（臨時財政対策債含む）の適切な活用による一般財源総額の確保</p> <p>イ 歳出 義務的経費の精査、建設事業費の優先順位付け、事務改善等による業務運営費抑制による事業の選択と集中の強化</p>	
経過	<p>1 令和3年 5～8月 財政推計の作成（各課による算定、ヒアリング等）</p> <p>2 同年 8月中旬 総合計画ローリングの実施</p>	
今後の進め方	<p>1 令和3年 8月27日 部課長会議において決算見込み・予算見通しを説明</p> <p>2 同年 8月以降 総合計画と財政推計の整合を図るための各課調整</p> <p>3 同年10月12日 政策会議に予算編成取扱要領を付議、予算編成事務説明会</p> <p>4 同年11月中旬 予算要求期限</p> <p>5 同年12月中旬～ 政策部長査定</p> <p>6 令和4年 1月 示達、市長査定等</p> <p>7 同年 2月 予算額確定、予算書作成等</p>	

一般会計における令和2年度決算見込みにみる
財政状況及び令和4年度当初予算の見通しについて

令和3年8月27日

政策部財政課

1 令和2年度決算見込みにみる財政状況

(1) 財政力指数 0.882 (3か年平均)

[財政基盤の強さ] 基準財政収入額 / 基準財政需要額

令和2年度普通交付税額 2,888,345千円 (前年度比126,129千円増)
微減傾向 (前年度0.890) が続き、単年度 (0.875) では、県内16市
(政令市を除く。) 中12位 (下から5番目) となっている。

(2) 経常収支比率 95.7%

[財政構造の弾力性] 経常経費充当一般財源 / 経常一般財源 × 100

数値が低いほど良好とされる。
社会保障費の増加に、市税など経常的に収入される一般財源が追いつ
いていない状態であり、前年度95.3%から微増。県内16市中6位。

(3) 財政調整基金現在高比率 7.7%

[財政調整基金現在高 / 標準財政規模]

令和2年度において、新型コロナウイルス感染症対策として不足した
一般財源の補填のため、多額の取り崩しをしたことにより、目安として
いる10%を下回る。県内16市中15位 (下から2番目)。

(4) 実質公債費比率 (健全化判断比率) 1.1% (3か年平均)

[公債費による財政負担の程度] 財政を早期に健全化すべき基準 25%
一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金 (過去3年平均)
の標準財政規模に対する比率
前年度の1.2%と同等。

(5) 将来負担比率 (健全化判断比率) 17.5%

[将来負担すべき負債の規模] 財政を早期に健全化すべき基準 350%
一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率
前年度の17.6%と同等。

2 令和4年度当初予算の見通し（令和3年8月12日現在）

(1) 歳入（一般財源規模）

区 分	推 計 額
市税	218億7,000万円
地方消費税交付金	32億5,000万円
地方交付税	37億1,000万円
臨時財政対策債	29億4,000万円
その他	20億2,000万円
合計（A）	337億9,000万円

(2) 歳出（総合計画に位置付けのない建設事業費を除く。）

区 分	推 計 額
義務的経費	172億2,000万円
（人件費）	（90億4,000万円）
（扶助費）	（47億4,000万円）
（公債費）	（34億4,000万円）
その他	146億6,000万円
建設事業費等	22億2,000万円
合計（B）	341億円

(3) 財源不足額

$$(A) - (B) = \Delta 3億1,000万円$$